

市民の力でごみ減量



ルールが変わっただけでは、これほどの成果は挙げられないんじゃないかなあ

市民一人一人の日々の努力や工夫の積み重ねが、こういう結果になって表れているんだと思う



そうだね！市内には少しでもごみを減らそう、ごみの問題を解決しようという努力している人がたくさんいるんだ

だいたいごみ博士に近づいてきたね、ナナちゃん！



事例1

ごみ減量のポイントは買うときからの心掛け

札幌消費者協会
環境研究会代表
いまむら あきこ
今村 明子さん



例えば服を買うときなら、「最後は生地リサイクルに」などと、不要になった後のことも同時に考えます。必要以上の量は買わないようにし、使った後は何らかのかたちで再利用することを心掛ければ、家の中のごみはぐっと減りますよ。新ごみルールで始まった指定袋ですが、わたしは5ℓを使うことがほとんど。ごみの少ない生活の気持ち良さを、多くの人に知ってほしいと思います。



エルプラザやリユースプラザなどで行う不用になったおもちゃの交換会「おもちゃのぱくりっこ」に参加している今村さん

事例2

ごみパト隊と二人三脚でごみステーション問題を解消

北区幌北連合町内会
環境衛生部長
たなか みねお
田中 岑生さん



地域のごみステーションの困いを、ごみパト隊の薦めで固定の木枠から折りたためるカラスよけサークルに変更。使用しないときは片付けられるので、常にごみが入れられてしまう状態が解消しました。また、共同住宅に専用のごみステーションを設置してもらった交渉も、ごみパト隊と一緒にいき、成果を挙げています。ごみパト隊と地域が協力してごみ問題に取り組んだことで、地域の結束も強くなりましたね。



※「ごみパト隊」…新ごみルールの普及・啓発や、地域のごみステーション管理を支援する職員

地域のごみステーションを回り、清掃しながらごみパト隊と意見を交わす田中さん

ごみ減量アイデアを募集!

日常で実践しているごみ減量のアイデアを募集します。いただいたアイデアの一部は、本誌で紹介する予定です(紹介された方にはウイズユーカード1,100円分を進呈)。

応募方法 住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、アイデアを記入し、はがき、ファクスでお寄せください。

送付先 ごみ減量推進課
〒060-8611中央区北1西2 ファクス218-5108

